

事業名	被災地就労支援セミナー開催	地 域	岩手県	資 料	1-1
担当機関	岩手志援株式会社	機関所在地	盛岡市	番 号	

被災地就労支援セミナー開催について

被災農家の移住等マッチングという事業に関して、岩手県の沿岸部、こと被害の大きかった陸前高田市を中心に調査をしたところ、移住に関して前向きでない回答を多く頂いた。とはいうものの実際のところ、農業者にとって解決しなければならない問題は解決されていない。主に以下の事例が挙げられた。

- ・荒れた農地の復元
- ・設備の再投資
- ・人口流出によるマーケットの縮小
- ・支援物資などによる地元消費者の購買意欲の低下
- ・販路の再創出

農業に限らず、被災地の復興に産業の活性化、雇用の創出は欠かせない。

上記の内容を解決する手段とまでは至らないまでも、一時生産物の出荷で完結している農業を、加工・流通まで手を加えることで、新たな産業と雇用が創出できるのではないかと考えた。そこで、下記のような内容・日程で6次産業化を推進するセミナー及び情報交換の場を被災地で行いたい。

記

1. 趣 旨 被災地の雇用の創出及び農業者のモチベーションアップ
2. 内 容 「被災地だからできる6次産業化」「6次産業化で元気な農業を」(仮)
3. 日 時 平成24年3月1日(木)
13時30分～
4. 場 所 陸前高田市 米崎公民館(陸前高田市役所 自然環境活用センター)
陸前高田市米崎町字川向14番地1
5. 定 員 25名程度(先着順)
6. 参加費 無料

以上

※尚、告知の方法として、陸前高田市内産直3店舗への案内(ポスター/チラシ等)、回覧板等を考えています。

事業名	被災地就労支援セミナー開催 (チラシ)	地域	岩手県	資料	1-2
担当機関	岩手志援株式会社	機関所在地	盛岡市	番号	



6次産業化による 雇用創出を考える

独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業 東日本大震災の被災者就労支援事業



平成 24 年 **3 月 1 日 (木)**

時間 **13:30 ~ 15:30**
セミナー / 相談会及び座談会

場所 **陸前高田市 米崎公民館**

参加費 **無料** 気軽にご参加ください



講師 **鈴木勝美**

- ・株式会社マイルストーン代表取締役
- ・岩手大学地域連携研究センター 副センター長
- ・岩手県産品のプロフェッショナルチームアドバイザー
- ・東北経済産業局農林工産部協議員

経歴

2000年8月に初マイルストーンを設立。地域の問題点の調査や策を軸にした町営しの提案など多岐にわたる社会事業を実施。同時に中小零細の生産者や加工業者の支援にシフト。商品開発から販売まで様々な支援を実施。

※会場の都合上、定員がございます。事前にお申し込みのある方を優先とします。お申し込みのない方のお席は、先着順となりますので、ご了承ください。

お問い合わせ
参加お申し込み

岩手志援株式会社

TEL 019-681-8242

〒020-0561
盛岡市上田4丁目3-5 岩手大学内 盛岡市産学官連携研究センター
<http://goodtaste.jp>
FAX: 019-681-8243

事業名	東北被災3県を中心としたアンテナショップ	地域	東京都板橋区	資料番号	1-3
担当機関	岩手志援株式会社	機関所在地	盛岡市		

〈別紙資料1〉

東北被災3県を中心としたアンテナショップの件

弊社で実施している、青空アンテナショップの出先商店街からの提案



青空アンテナショップ



店舗候補地


1. 伊勢志摩が商店街との付き合いで決定している。その他福島・宮城・岩手ブースを検討中。
2. 改装費用は、東京都・板橋区・商店街（出展社含む）それぞれが3分の1を負担する。
3. 店舗は調理場も併設して、地域の惣菜などイベントを通して訴求する。
4. 家賃は出展社が基本的には負担する。
5. 運営は現在検討中、場合によっては弊社で担当する。
弊社が担当する場合には、正社員対応のスタッフが必要となる。その場合には福島県の避難住民を検討している。
6. イベントは被災地の市町村を中心に組み立てる。

依頼事項

1. 被災スタッフの person 費の一部又は全部の補助金
2. 被災3県ブースの運営費（家賃含む）の補助

将来的には被災3県でスタッフを雇い、コーディネーターとバイヤーの役割を果たす人材の育成を実施する。

事業名	ホームページ（就労受入れ先全国マップ）	地域	宮城県	資料	2-1
担当機関	震災復興支援プロジェクト 手をつなごう	機関所在地	仙台市	番号	


 特定非営利活動法人
 全国コミュニティライフサポートセンター
 Community Life Support Center

[HOME](#) | [サイトの利用について](#) | [お問い合わせ](#) | 450210

[花田の解説](#) | [助成金情報](#) | [事業情報](#) | [プレスリリース](#) | [レポート・アビリティ](#) | [リンク](#)

[CLCのご案内](#) | [Juntosのご案内](#) | [講座＆セミナー](#) | [書籍のご案内](#) | [調査＆研究](#)

東日本大震災被災者就労支援事業

就労受入れ先全国マップ

避難先で、主に漁業や農業ができる環境を提供します。

「東日本大震災で被災された方（家族）、主として第一次産業に従事されていた方が、避難先で引き続き漁業や農業に従事できること」を目的に、「受け入れ地の仕事と住まいをある程度保てる規模で呼び起こし、またまっただけで暮らすことでコミュニティを維持し、仕事を通じてこの日々を保てる環境づくり」を実施する事業です。
（主催：財団法人暮らしがし、情報提供）

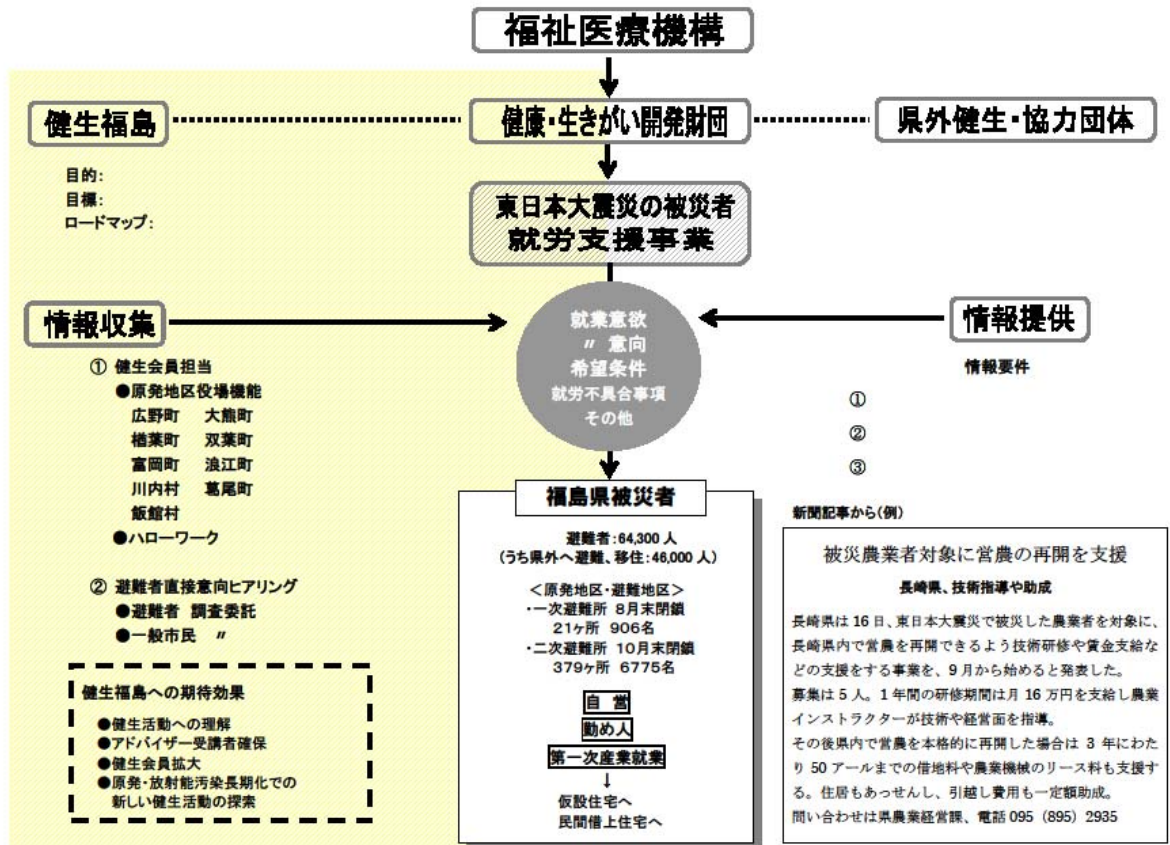


色がついている都道府県で就労支援を実施しています。地図をクリックすると就労内容の一覧をご覧いただけます。

就労先一覧（都道府県別）

京都市			
業種	主な仕事内容	受入先	詳細情報
農業	農作物の作付け・収穫	農業生産法人 (株)みわ・ダッシュ村	PDFファイル
漁業	定置網漁業（養上げ、選別、網補修等）	養老漁業株式会社	PDFファイル
岡山県			
業種	主な仕事内容	受入先	詳細情報

事業名	事業の展開図	地域	福島県	資料	3-1
担当機関	健康生きがいづくりアドバイザー福島県協議会	機関所在地	福島県	番号	



事業名	仮設住宅でボランティア活動	地域	福島市	資料	3-2
担当機関	福島県健康生きがいきづくりアドバイザー協議会	機関所在地	福島県	番号	

被災者に寄り添い、ストレス緩和に活躍する「指ヨガ」講師が誕生

仮設住宅でボランティア活動をします！

東日本の被災者就労支援活動の一環として、静岡健生（静岡県健康生きがいきづくりアドバイザー協議会）が、1月17日から19日 福島市で「指ヨガ」講師資格取得講座を開催して、12名の講師を誕生させます。

資格を取得した「指ヨガ」講師が講座終了後、早速 福島市南矢野目応急仮設住宅、南集会所で、被災者に「指ヨガ」を行い、ストレスに悩む被災者を癒します。

開催日 平成24年1月19日(木)午後2時～3時

開催場所 福島市・南矢野目応急仮設住宅 南集会所

健康生きがいきづくりアドバイザーは全国組織で、健康生きがい財団が福祉医療機構助成金「東日本の被災者就労支援事業」に呼応して活動しています。

静岡健生では、会員に「指ヨガ」講師がいることから、福島県の方にこの資格を取得していただき、被災者のストレス緩和にお役に立っていただきたい、この願いで開催します。

この開催にあたり、健康生きがいきづくりアドバイザー福島県協議会（会長 鹿目昭夫）が協力しました。

平成24年1月13日

健康生きがいきづくりアドバイザー福島県協議会

会長 鹿目 昭夫

福島県郡山市富久山町八山田字山神久保6番地の9

☎ 090-9039-4775

事業名	仮設住宅での「指ヨガ」体験	地域	福島市	資料	3-3
担当機関	福島県健康生きがづくりアドバイザー協議会	機関所在地	福島県	番号	

福 島 民 報

2012年（平成24年）1月21日（土曜日）

指ヨガ、避難者癒やす 福島市の仮設住宅

福島市の南矢野目仮設住宅で十九日、呼吸法を整えながら手指をマッサージする指ヨガがボランティアの協力で行われ、住民らは仮



住民と会話しながら指ヨガに励むスタッフ

設住宅暮らしの疲れを癒やした。健康生きがづくりアドバイザー協議会との交流を生かし、静岡県健康生きがづくりアドバイザー協議会が主催した。十七日から同市で資格取得の講習を行っており、仕上げとして実施した。五十七代までの十三人のスタッフが手のひらや甲などをもみほぐしながら住民と会話を交わした。

浪江町から同市内の借り上げ住宅に家族三人で避難生活を送るインスタクターの長山徳子さん（五十）もスタッフの一人として参加した。長山さん自身も不安な生活の中で参加したが、「問題は山積しているが今できることを頑張りたい」と懸命に取り組んでいた。

事業名	仮設住宅での「指ヨガ」体験	地域	福島市	資料 番号	3-4
担当機関	福島県健康生きがいづくりアドバイザー協議会	機関所在地	福島県		

事業名	東日本大震災被災者支援 札幌近郊農園就職ガイダンスツアー	地域	北海道	資料 番号	4-1
担当機関	NPO 法人北海道ふるさと回帰支援センター	機関所在地	北海道		

東日本大震災被災者支援 札幌近郊農園就職ガイダンスツアー（報告）

【日時】 平成24年1月12日（木曜日）

【場所】 恵庭市「余湖農園」

【内容】 ① 代表取締役余湖氏のご講演「余湖農園の事業概要と春からの農作業」
春からの農作業の内容及び北海道の農業のガイダンス
春からは臨時職員として受入可能になっていることを説明した
② 「余湖農園」ハウス栽培見学
③ 「くるるの杜」（北海道の農業を紹介するホクレン運営の食と農のふれあいファーム）見学と昼食

【参加者】 36名（年齢構成；5才以下＝7名。6～12才＝11名。30才代＝8名。40才代＝6名。60才代＝4名）。若いお母さんと子供の組み合わせが多かった。

【随行員】 2名（北海道ふるさと回帰支援センター1名、北海道NPO被災者支援ネット1名）

【行程】

9：00 JR札幌駅 参加者6名集合。タクシーで厚別・雇用促進住宅桜台へ移動。

9：30 厚別・雇用促進住宅桜台で貸切バス乗車・出発。

10：15 余湖農園到着

11：15 余湖農園出発

11：45 くるるの杜到着

13：15 くるるの杜出発

14：00 厚別・雇用促進住宅桜台下車

14：40 JR札幌駅到着

【その他】 ツアー終了時、参加者一人ひとり（年齢問わず）へ、おみやげ野菜一袋配布。

【コメント】

全体的行程が、天気にも恵まれて順調なツアーになりよかった。参加者も、札幌近郊で見渡すかぎり真白な雪景色を堪能し、冬季に工夫したハウス栽培を見学して知見を広めていた。また小学生の中には、ツアーを冬休みの自由研究に活用している子ども居て、親から感謝の言葉もあった。

課題としては、冬道ある程度の距離を歩くため2～3歳児が移動するには、もう少し時間的な余裕が必要と感じた。また、子どもの多さから勘案すると子どもが遊べる時間を意識する必要があったと考える。



事業名	「繋がろう！3.11 避難者ネットワーク長野」 チラシ	地域	長野県	資料番号	5-1
担当機関	長野県健康生きがづくりアドバイザー協議会	機関所在地	長野県	番号	

健生が応援
アドバイザー

繋がろう!

3・11避難ネットワーク長野

コンサートと語り合いのひとときを

東日本大震災とそれに伴う福島第1原発の事故で被災し、長野に避難して来られた皆さま、寒さ厳しい長野の冬をいかがお過ごしでしょうか。
住み慣れた土地を離れ、中にはご家族とも離れて、見知らぬ場所での生活、困っていることも沢山あるかと思えます。

日時
2012年
2月4日(土)
14:00~16:00

会場
長野市ふれあい
福祉センター 5Fホール
TEL 026-227-3707
※市役所第5駐車場をご利用ください

参加費
無料

11月に行われた避難者の皆さまと長野県との懇談会では、多くの方が避難者同士の交流を求めていることが明らかになりました。

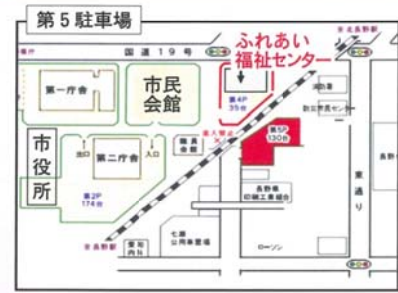
そこで、私たちに何ができるかわかりませんが、まずは避難者同士が繋がるための「場」を設けることにしました。心と音楽のひとときと、抱えている問題を出し合い、語り合い、解決方法をいっしょに見出していくためのネットワーク作りに、お子様もごいっしょに是非ご参加ください。

また、避難者の声に耳を傾け、何か力になりたいと考えている市民の皆様のご参加もお待ちしています。

第1部
コンサート

歌……松本 晏子
演奏…ナナ・スペシャル・トリオ
曲目…明日に架ける橋、愛の賛歌etc
※休憩時間にマジックもあります

第2部
語り合い・ネットワーク作り



主催 長野県健康生きがづくり
アドバイザー協議会
後援 信濃毎日新聞社／SBC信越放送
財団法人 健康・生きがい開発財団
問合せ 樽田 090-8089-9866 FAX 026-223-1339

この事業は平成23年度福祉医療機構助成金「東日本大震災の被災者就労支援事業」によりおこなうものです

事業名	「繋がろう！3.11 避難者ネットワーク長野」 実施内容	地域	長野県	資料 番号	5-2
担当機関	長野県健康生きがづくりアドバイザー協議会	機関所在地	長野県		

1) 実施日
平成 24 年 2 月 4 日 (土) 14:00~16:00

2) 事業場所
長野市大字敦賀緑町 1714-5
長野市ふれあい福祉センター 5 F ホール

3) 事業の対象
避難者と支援者、行政、企業の担当者。
それぞれがコンサート会場に集まっていたく。
「3. 1 1 避難者ネットワーク長野」立上のネットワーク作りのきっかけをねらいとする。

4) 事業の内容
開会挨拶：長野県健生協議会 勝田敏男会長
第 1 部 コンサート
歌と楽団演奏
第 2 部 語り合い・ネットワークづくり。
助言者 ハローワーク長野 内川幸恵統括官
長野市役所危機管理防災課 小林弘明係長
語り合い：司会を避難者代表の森永敦子さんをお願いする。
・森永さん挨拶、語り合いの方法として避難者、支援者に紙を一枚ずつ渡し、東日本大震災、原発事故に対しどのように感じ対応していったらよいか、全員に紙に書いてもらう。避難者 1 グループ、支援者 2 グループに分ける。
・各グループの代表者から書かれた意見を発表し、森永さんが模造紙に書き入れる。
・発表された意見は次の通り。

A) 避難者

- ① 小学校の給食はどうなっているか
- ② スーパーの産地表示
- ③ 子供の検診を継続してできるように
- ④ 放射能測定を自分たちでできないか
- ⑤ 放射能について問題意識を持ってもらいたい
- ⑥ 被災者の住宅借り上げ期間延長と支援情報をしっかりと
- ⑦ 自主避難している母と子家族に父親の代わりに男性が相談相手になってもらえれば
- ⑧ 福島へ安全な食品を提供してほしい
- ⑨ 長野の郷土料理を教えていただきたい
- ⑩ 福島の避難者の発言、意見を聴く機会を作ってもらいたい
- ⑪ 今の生活に満足している

⑫ 現地にいても外に出られない人がいる

B) 支援者－1

- ① 温泉へお連れしたい
- ② 公民館へ招いて楽しませたい
- ③ 信州の山を案内して心の癒しをしてあげたい
- ④ 就労支援をしたい 人脈、チームを通して
- ⑤ 友達になって話をしたい
- ⑥ 被災者と支援者が寄り添える場所が欲しい
- ⑦ 長野へ来て良かった点、悪かった点を教えてもらいたい
- ⑧ 被災地の農産物を購入したい

C) 支援者－2

- ① 被災地の情報を詳しく知りたい
- ② 問題が生じたときの相談窓口
- ③ 家族全員が一緒に住めるように
- ④ 故郷と一緒に住めるお手伝いをしたい
- ⑤ 避難者の悩みごとの相談の場
- ⑥ 体調の悪い時の相談を
- ⑦ 法的相談の出来るところ
- ⑧ 子供の服を提供してほしい
- ⑨ 子供と親が交流の出来る場が欲しい
- ⑩ 就労支援
- ⑪ 被災地の支援を打ち切られないように協力を
- ⑫ 家屋の倒れているところの被災地の整理支援
- ⑬ 車の移動支援を

以 上

事業名	「繋がろう！3.11 避難者ネットワーク長野」	地域	長野県	資料	5-3
担当機関	長野県健康生きがいくくりアドバイザー協議会	機関所在地	長野県	番号	

生きがいくくりアドバイザー協 避難者支援で交流会



「3・11ネット
ワーク」
情報交換なども

県健康生きがいくくりアドバイザー協議会(勝田敏男会長)は4日、東京電力の福島第一原発事故により長野県内に避難してきている人を支援する「繋がろう！3・11避難ネットワーク長野」と銘打った催しを長野市ふれあい福祉センターで開いた。

同協議会は、財団法人健康・生きがい開発財団から協定を受けた県内のアドバイザーでつくる。催しは、避難者同士の情報交換や交流、市民の支援の在り方について理解を深め

意見を出し合う参加者
~~~~~  
てもらう目的で開催。避難者やボランティアら50人ほどが出席した。

長野市内には07世帯・100人が避難してきており、そのうち7割が自主避難者で互いのつながりは希薄という。避難者からは福島県の現状を知ってほしい。発言の場が必要だ「おやまなや郷土金の調理教室を囲むるなどしてもらい、長野の人と交流したい」「こういう交流の場を来々でも一歩が踏み出す必要だ」と話している。同じ避難者でも自主避難と計画的避難区は、避難の経緯が違域では賠償の内容が違う。バラバラになっている弱者である避難者同士がまなや、声を発していくネットワークを作りたいと考えた。

長野市民新聞

|      |                         |       |     |    |     |
|------|-------------------------|-------|-----|----|-----|
| 事業名  | 「繋がろう！3.11 避難者ネットワーク長野」 | 地域    | 長野県 | 資料 | 5-4 |
| 担当機関 | 長野県健康生きがいづくりアドバイザー協議会   | 機関所在地 | 長野県 | 番号 |     |

### 3.11 避難者ネットワーク長野立上 フォト記録

■日時：2012.2.4pm14:00～16:00 会場：長野市ふれあい福祉センター5Fホール



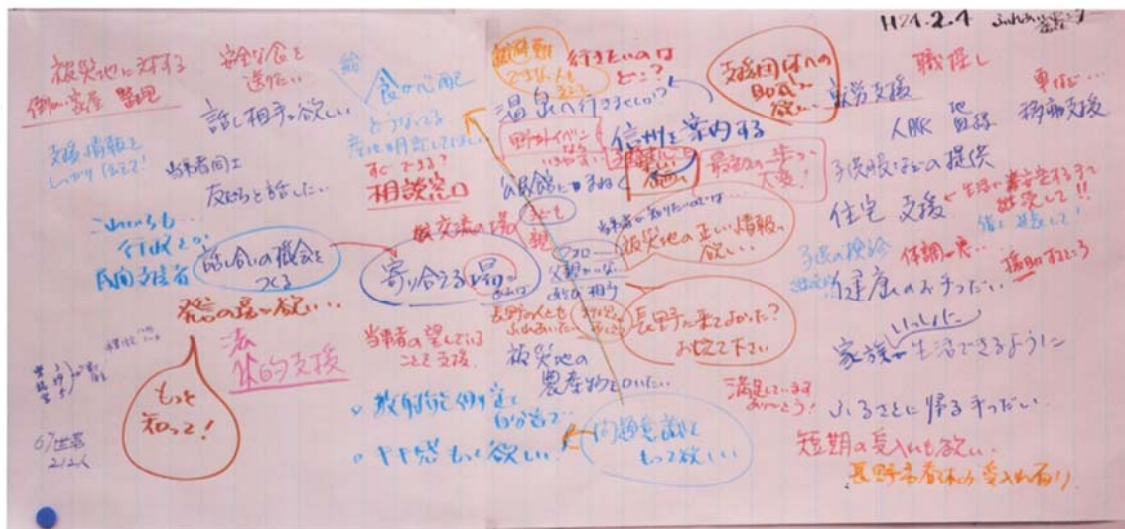
#### 催事メモ

- ・参加者：避難者、ボランティア約50名。健生AD11名。
- ・メディア取材：長野市民新聞社、週刊長野新聞社
- ・行政：ハローワーク長野、長野市役所より担当各1名
- ・企業：黒姫和漢薬研究所 中醫師蘇叶祥氏
- ・3.11 避難者ネットワーク立上と就労に向けてきつかけづくりの催事。その後の活動経過は、催事に参加した避難者の方々と共に組織構築と就労に向け連絡を取合い今日に至っている。

|      |                         |       |     |    |     |
|------|-------------------------|-------|-----|----|-----|
| 事業名  | 「繋がろう！3.11 避難者ネットワーク長野」 | 地域    | 長野県 | 資料 | 5-4 |
| 担当機関 | 長野県健康生きがいづくりアドバイザー協議会   | 機関所在地 | 長野県 | 番号 |     |

2012年2月4日(土) pm2~4  
 長野市ふれあい福祉センター5F



東日本大震災被災者の「避難者ネットワーク長野」立上りに向けての  
 避難者・支援者(各グループ)の声





|      |               |       |     |    |     |
|------|---------------|-------|-----|----|-----|
| 事業名  | 定着就労応援「定置網魚魚」 | 地域    | 京都府 | 資料 | 8-1 |
| 担当機関 | 健生ネットワーク京都    | 機関所在地 | 京都市 | 番号 |     |

# 定置網漁業

 **天橋立の近くのきれいな海で**   
**漁業の経験を生かし、働きに来ませんか！**

**お子さんにもとてもいい環境です。**

- ☆ 住居斡旋いたします。
- ☆ 月 収/18万円～
- ☆ 永住可能 家族帯同
- ☆ 業 種/定置網 規模/19t
- ☆ (網上げ、選別、網補修等)



お問い合わせはお気軽に

**養老漁業株式会社** 京都府宮津市宇大島1

代表取締役 **大門 誠**

電話：0772-28-9480

HP <http://tangoweb.co.jp> ご参照下さい。



独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業

**情報提供>健生ネットワーク京都 (健康生きがいくくりアドバイザー京都協議会)**



|      |                       |       |     |    |     |
|------|-----------------------|-------|-----|----|-----|
| 事業名  | 定着就労応援「農業法人 みわ・ダッシュ村」 | 地域    | 京都府 | 資料 | 8-2 |
| 担当機関 | 健生ネットワーク京都            | 機関所在地 | 京都市 | 番号 |     |

京都府

農作物の作づけ・収穫  
仲間と働きませんか!

## 定着就労応援

**安定した生活を保障します**

**春の作づけ、秋の収穫、人手が足りません**

穏やかな、自然の中で働きませんか!  
ご家族で、安定した生活が保障できます。  
近くに町立の小学校もあり、お子さんも自然の中で安心して教育が受けられます。



- ★ お住い用意いたします
- ★ 月 収/15万円～
- ★ 永住可能 家族帯同



お問い合わせはお気軽に

農業生産法人 (株) みわ・ダッシュ村

京都府福知山市三和町下合10-3

担当責任者 森本 修 ☎0773(59)2255

HP <http://miwa-dashmura.com>

情報提供>健生ネットワーク京都(健康生きがいくりアドバイザー京都協議会)

独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業

|      |                             |       |     |          |     |
|------|-----------------------------|-------|-----|----------|-----|
| 事業名  | 東日本大震災就労支援事業<br>「凧づくり大会」チラシ | 地域    | 京都市 | 資料<br>番号 | 8-3 |
| 担当機関 | 健生ネットワーク京都                  | 機関所在地 | 京都市 |          |     |

《東日本大震災被災者就労支援事業》

♪♪～ほっこり楽しい～♪♪～みんな集まろう～♪♪

# 凧づくり大会



凧づくり大会の準備中...

▲ 日 時：平成23年12月18日（日）13:30～16:00

▲ 場 所：京都平安ホテル2階（市営地下鉄「今出川駅」下車6番出口）

▲ 対 象：子どもさんとそのご家族

▲ 参加費：無料

▲ 定 員：50組

▲ 申 込：健生ネットワーク京都 <sup>まで</sup> 真田

電話&ファックス 075-492-9616

\*参加される方のお名前・お歳・電話番号をご連絡いただくようお願いします。  
詳しいことは参加が決まった方にご連絡いたします。



主催：健生ネットワーク京都（健康生きがいづくりアドバイザー京都協議会）

後援：厚生労働省所管（財）健康・生きがい開発財団

京都災害ボランティア支援センター

独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業



|      |                               |       |     |          |     |
|------|-------------------------------|-------|-----|----------|-----|
| 事業名  | 東日本大震災就労支援事業<br>「凧づくり大会」プログラム | 地域    | 京都市 | 資料<br>番号 | 8-4 |
| 担当機関 | 健生ネットワーク京都                    | 機関所在地 | 京都市 |          |     |

東日本大震災就労支援事業 「凧づくり大会」 平成 23 年 12 月 18 日 京都平安ホテル



受付から始まる



真田代表のあいさつ



まずは凧選び



凧づくりの和泉先生



凧づくりに夢中に



凧づくり全体の光景



福引でいいものが当たった



みんなでジャンケンだ



最後はサンタさんの登場



皆さん作った凧で全員集合

|      |                       |       |     |    |     |
|------|-----------------------|-------|-----|----|-----|
| 事業名  | 東日本大震災就労支援事業 「凧づくり大会」 | 地域    | 京都市 | 資料 | 8-5 |
| 担当機関 | 健生ネットワーク京都            | 機関所在地 | 京都市 | 番号 |     |

京都新聞 掲載記事  
平成23年12月19日

上京で市民団体

## 京都の空で たこ揚げよう

避難16家族が絵付け

今できること



東日本大震災の避難者家族を招いたイベント「凧づくり大会」が18日、京都市上京区のホテルで行われた。参加した親子たちは、大空に舞い上がる姿を思

い浮かべながら、たこ約60枚のたこを受け取った親子は、たこに描かれたキャラクターを好きな色で塗った。たこ作りが得意な同ネットの真田代表(78)は「これをきっかけに今後も交流を続けていきなさい」と話していた。

(奈良社利介)

約60枚のたこを受け取った親子は、たこに描かれたキャラクターを好きな色で塗った。たこ作りが得意な同ネットの真田代表(78)は「これをきっかけに今後も交流を続けていきなさい」と話していた。

(奈良社利介)

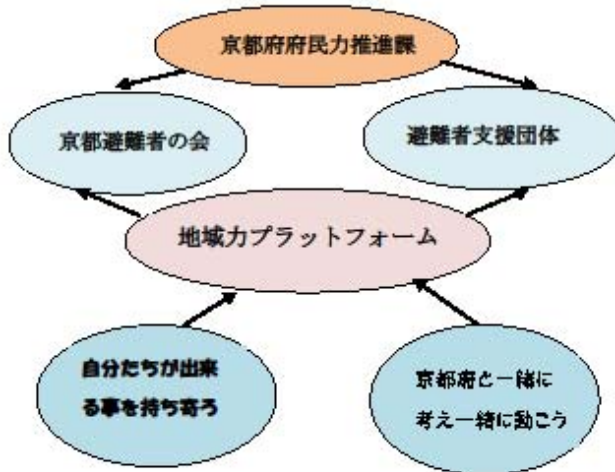


|      |                             |       |     |          |     |
|------|-----------------------------|-------|-----|----------|-----|
| 事業名  | 東日本大震災による避難者支援<br>・京都府民協働事業 | 地域    | 京都市 | 資料<br>番号 | 8-6 |
| 担当機関 | 健生ネットワーク京都                  | 機関所在地 | 京都市 |          |     |

東日本大震災による避難者支援・京都府民協働事業

◆「地域力プラットフォーム」結成 平成 24 年 2 月 1 日  
府内 15 支援団体と、避難者が一同に結集しての意見交換会  
「京都府地域力再生コラボカフェ」が開催されて、今後の支援活動方法等、活発な意見が交わされた。  
息の長い事業でも有り、「地域力プラットフォーム」の呼名で連絡協議会が結成され、健生ネットワーク京都も今後、一団体として連絡協議会に参画する事になった。

地域力プラットフォームのネットワーク

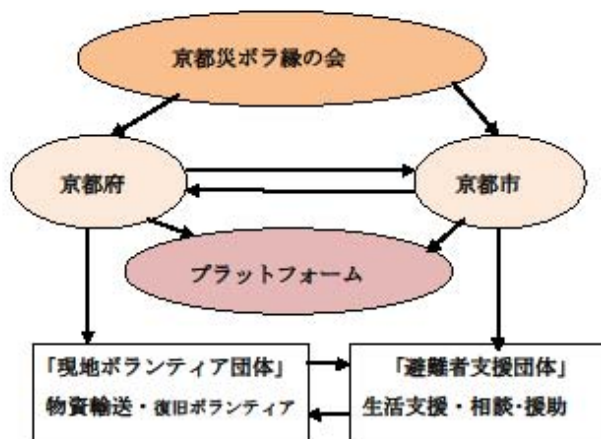


＜避難者支援団体意見交換会＞



＜支援団体活動報告展示コーナー＞

◆「京都災ボラ・縁(えにし)・の会」結成  
災ボラ・縁の会ネットワーク



平成 24 年 2 月 11 日  
京都災害支援ボランティアセンターからの派遣、現地復興ボランティア団体（大谷、立命、龍谷）学生ボランティア、NPO、一般市民ボランティア団体、総勢 300 名が結集しての連絡協議会【災ボラ(縁)】が発足した。現地からは、「気仙沼市大島災害対策本部長」「福島県仮設住宅等支援連絡会議事務局長」「大堀相馬焼組合専務理事」の三氏から、3・11 からの現状報告があり、今後必要な支援は何かを話し合い、今後の現地向け復旧支援や京都の避難者支援に向け活動ネットワークが始動した。

|      |                             |       |     |          |     |
|------|-----------------------------|-------|-----|----------|-----|
| 事業名  | 東日本大震災による避難者支援・<br>京都府民協働事業 | 地域    | 京都市 | 資料<br>番号 | 8-7 |
| 担当機関 | 健生ネットワーク京都                  | 機関所在地 | 京都市 |          |     |

**京都府「地域力再生コラボカフェ」** 平成24年2月1日 京都平安ホテル



京都府の避難者支援の報告



きょうとNPOセンターの避難者支援の報告



避難者支援の報告光景



避難者支援グループ①の意見交換



避難者支援グループ②の意見交換



避難者支援グループの発表・意見交換



地域力再生コラボカフェの全体まとめ



健生ネットワーク京都の活動紹介コーナー



|      |                       |       |      |    |     |
|------|-----------------------|-------|------|----|-----|
| 事業名  | 災害から命を守る「生きる」ための県民集会  | 地域    | 和歌山市 | 資料 | 9-1 |
| 担当機関 | 和歌山県健康生きがづくりアドバイザー協議会 | 機関所在地 | 和歌山県 | 番号 |     |

～災害から命を守る「生きる」ための県民集会～

# 今、和歌山に地震が!!



写真の提供元:イメージハウス 田中 正秋 さん  
 NPO法人 震災から命を守る会  
 イラスト:和歌山市立和歌山高等学校デザイン表現科 堀端 梨帆さん



主催:「守ろう、わかやま!!」実行委員会

開催

平成23年10月17日

|      |                       |       |      |    |     |
|------|-----------------------|-------|------|----|-----|
| 事業名  | 災害から命を守る「生きる」ための県民集会  | 地域    | 和歌山市 | 資料 | 9-2 |
| 担当機関 | 和歌山県健康いきがづくりアドバイザー協議会 | 機関所在地 | 和歌山県 | 番号 |     |

## 東北地方の被災就労者を和歌山へ迎えよう

謹んで、この度の台風12号により被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

今年3月11日に発生した東日本大震災の傷跡は、発生から半年以上が経った今も、東北地方を中心に被災地の人々の生活に重く押しかかっています。特に東北3県(福島県・岩手県・宮城県)沿岸部は津波や原発被害が大きい「被害甚大地域」と指定され、その4割が営業不振状態です。

震災発生当時から被災者は、地震被害、津波被害、原発被害、風評被害、そして、正しい情報が入ってこない無政策被害の五重苦に苦しめられて来ました。それは半年以上経った今でも、ほとんど変わりません。むしろ、時間が経てば経つほど事態は深刻にならざるを得ない状況になっています。経済的な問題が刻々と身に迫ってくるからです。

これまでは被災地域内での助け合いや、全国様々な方からの支援を受けて今日まで何とか耐え抜いてきました。働く場所や職場が無くなっていても、自立の精神と生活の継続を求めて焦る気持ちが日に日に大きくなってきます。けれども津波で企業基盤を失い、破綻の危機に瀕している企業も多く、実質営業不能状態にある企業数はさらに増えるとみられます。今後、復旧・復興までの期間が長引くほど、これらの企業が先行き見通し難から事業継続を断念し、倒産手続きに移行する可能性は高く関連倒産の件数が急増する可能性も十分にあります。福島県をはじめとする被災地の皆さんは、大変な苦境で過ごされているのです。

9月3、4日に起きた台風12号による豪雨は、全国各地で被害を発生させました。中でも最も大きな被害を被ったのは和歌山県紀南地方です。大雨によって山の地面が緩み土砂崩れが起り、土砂が雪崩れ込んだ川は山津波となってあらゆる建物を呑み込み、甚大な被害が生じました。

ひと昔前の山村での仕事は、川底に溜まった土砂をすくい出す浚渫作業、山の木々を正しく成長させる間伐・伐採作業等が盛んでした。山に携わる仕事に従事していた人は、山に植える木々が山に栄養を富ますように広葉樹を植えていましたが、現在は成長の早い針葉樹が重宝され、山の姿は一見青々とみどりが繁り綺麗に見えますが、実は瘦せていて、栄養失調状態の山も少なくはありません。水と木は人の手が加わってこそ維持され、豊かな土地の源になっていました。和歌山県は「紀州 紀(木)の国」といわれています。自然との調和を大切にする人の思いと、思いだけでなく実際に手を入れて自然とともに地域を育てていく木の国であってほしいものです。


「防災(災害)に強い町づくり」には、人の手がいきどいた環境保護が必要です。東北で被災された皆さんの就労が問題化されています。災害を起こさない、かつ起こさせないために、災害の怖さと就労の尊さを体感されている方々に、これからの生活、これからの環境整備にお力添えいただくのはいかがでしょうか。

和歌山での就労が東北地方の皆様のご生活の糧となり、紀南地方の過疎地域が活性化されて地域が明るくなれば、双方にとって意義のある素晴らしい就労となるのでは、と思います。どうか、和歌山県、県内外の皆様も被災地の方々の就労を一緒に考えてみて下さい。

明日は我が身です。

「守ろう、わかやま!!」実行委員会 実行委員  
和歌山県健康いきがづくりアドバイザー協議会

事務局長 市野 弘



### ブレインズ株式会社

楽天・ヤフー・オークション開設  
ホームページ・携帯サイト制作  
アクセスアップ・ログ解析

システムコンサルティング  
システムアウトソーシング  
システム保守メンテナンス

ネットショップ運営・管理  
SEO検索エンジン上位表示  
SNS・Blog開設・運営・管理

システム開発・改善・調査  
ネットワーク構築・設定  
データ入力・復旧・復元





|      |                       |       |      |     |     |
|------|-----------------------|-------|------|-----|-----|
| 事業名  | 災害から命を守る「生きる」ための県民集会  | 地 域   | 和歌山市 | 資 料 | 9-3 |
| 担当機関 | 和歌山県健康いきがづくりアドバイザー協議会 | 機関所在地 | 和歌山県 | 番 号 |     |

目的：東北地方の被災就労者を和歌山に迎えよう

参加者：和歌山県民300名

「産・官・学・民」各界を含めた県民集会フォーラム

1. 今井実行委員長挨拶（和歌山大学院2回生）



2. ひげの隊長こと佐藤参議院員（福島県出身）



3. 東南海・南海地震の発生率が高くなってきている



|      |                          |       |     |     |      |
|------|--------------------------|-------|-----|-----|------|
| 事業名  | 就労支援「晴れの国おかやまで畑作農業しませんか」 | 地 域   | 岡山県 | 資 料 | 10-1 |
| 担当機関 | 岡山県健康いきがづくりアドバイザー協議会     | 機関所在地 | 岡山県 | 番 号 |      |

# 岡山県

健生が応援  
元気で働ませんか

## 晴れの国おかやまで 畑作農業しませんか



近くに内科・小児科、  
サークルK等があり生活も便利



現地付近



### <概 要>

- 古民家を2年間家賃無償貸与します。
- 営農指導・農機具貸与。
- 一戸建て農家4LDK 畑20㎡以内
- 場所：岡山県赤磐市山口304番地  
\*光熱水費のみで生活できる。  
しかも農機具の貸与と営農指導を受けながら2年間の内に定着を図る。

独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業

### <お問合せは お気軽にどうぞ>

\*小坂 一夫 090-2299-0318

(岡山県赤磐市農業委員会委員長) 又は

\*河田 幸男 090-5379-2443

(岡山県健康生きがづくりアドバイザー協議会長) へ



健康生きがづくりアドバイザー福島県協議会

|      |                      |       |     |    |      |
|------|----------------------|-------|-----|----|------|
| 事業名  | 農業就労支援「野菜づくり」        | 地域    | 徳島県 | 資料 | 11-1 |
| 担当機関 | 徳島県健康生きがづくりアドバイザー協議会 | 機関所在地 | 徳島県 | 番号 |      |

# 徳島県内

健生とくしまが応援  
元気で働きませんか

## 野菜づくりに

汗を流してみませんか！

### 大震災で被災された 農業従事者の方へ

今までに蓄積した技術を生かしましょう！

#### ■ 就業先の主な仕事内容

- 野菜や花卉経営、菌床椎茸栽培を行う農業法人での作業  
(正社員・期間雇用)

#### ■ 徳島県の被災者の避難受入れプログラム



『罹災証明書』『被災証明書』の発行を受けた方等が、徳島県に避難される場合

- ① 公的住宅の無償提供（最長2年間）
- ② 県民から支援物資として届けられた生活用品の提供
- ③ 1世帯30万円（単身世帯は半額）の生活資金供与を行っています。

※ 支援にあたっては、それぞれ制度要件等がございます。

【担当：徳島県政策企画総局（TEL:088-621-2131）】



ご相談・お問い合わせは  
徳島県立農林水産総合技術支援センター  
教育研修課

TEL 088(621)2427

健康生きがづくりアドバイザー福島県協議会

独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業



|      |                        |       |      |    |      |
|------|------------------------|-------|------|----|------|
| 事業名  | 林業就労支援「徳島県森林組合」        | 地域    | 徳島県内 | 資料 | 11-2 |
| 担当機関 | 徳島県健康生きがいきづくりアドバイザー協議会 | 機関所在地 | 徳島県  | 番号 |      |

# 徳島県内

健生とくしまが応援  
元気で働きませんか

## 森林組合で 働いてみませんか！

### 大震災で被災された 林業従事者の方へ その技術と経験を生かしましょう！

#### ■ 就業先の仕事内容と住宅

- 保育作業、間伐等の作業、木材生産の作業など
- 林業就業(県支援事業)の関連資格取得は応援する



#### ■ 徳島県の被災者の避難受入れプログラム

- 『罹災証明書』『被災証明書』の発行を受けた方等が、徳島県に避難される場合
- ① 公的住宅の無償提供（最長2年間）
  - ② 県民から支援物資として届けられた生活用品の提供
  - ③ 1世帯30万円（単身世帯は半額）の生活資金供与を行っています。
- ※ 支援にあたっては、それぞれ制度要件等がございます。

【担当：徳島県政策企画総局（TEL:088-621-2131）】



ご相談・お問い合わせは

徳島県農林水産部林業飛躍局  
林業振興課次世代林業戦略室

**TEL** 088(621)2456

独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業

健康生きがいきづくりアドバイザー福島県協議会



|      |                        |       |     |    |      |
|------|------------------------|-------|-----|----|------|
| 事業名  | 水産業就労支援「漁労産業、漁業組合事務作業」 | 地域    | 徳島県 | 資料 | 11-3 |
| 担当機関 | 徳島県健康生きがづくりアドバイザー協議会   | 機関所在地 | 徳島県 | 番号 |      |

# 徳島県

健康とくしまが応援  
元気で働きませんか

## 徳島の海で

働いてみませんか？

大震災で被災された  
漁業関係者の方へ  
その経験を生かしましょう！

### ■ 就業先の仕事内容

- 漁船漁業及び養殖業での漁労作業
- 漁業協同組合における事務作業



### ■ 徳島県の被災者の避難受入れプログラム

『罹災証明書』『被災証明書』の発行を受けた方等が、徳島県に避難される場合

- ① 公的住宅の無償提供（最長2年間）
- ② 県民から支援物資として届けられた生活用品の提供
- ③ 1世帯30万円（単身世帯は半額）の生活資金供与を行っています。

※ 支援にあたっては、それぞれ制度要件等がございます。

【担当：徳島県政策企画総局（TEL:088-621-2131）】



ご相談・お問い合わせは

徳島県農林水産部  
ブランド戦略総局水産課

TEL 088(621)2472

独立行政法人福祉医療機構 社会福祉援奨助成事業

健康生きがづくりアドバイザー福島県協議会

|      |                        |       |      |    |      |
|------|------------------------|-------|------|----|------|
| 事業名  | 農業就労支援「養鶏業就労支援」        | 地域    | 徳島県内 | 資料 | 11-4 |
| 担当機関 | 徳島県健康生きがいきづくりアドバイザー協議会 | 機関所在地 | 徳島県  | 番号 |      |

# 徳島県

健康とくしまが応援  
元気で働きませんか

## 養鶏業者で 働いてみませんか？

### 大震災で被災された 畜産業従事者の方へ その経験を生かしましょう！

#### 就業先の仕事内容

- 養鶏業者でのプロイラー飼養管理、食鶏処理、加工業務（正社員・期間雇用）
- 採卵鶏農場での飼養管理、作業機械のメンテナンス業務（正社員）

#### 徳島県の被災者の避難受入れプログラム

『被災証明書』『被災証明書』の発行を受けた方等が、徳島県に避難される場合

- ① 公的住宅の無償提供（最長2年間）
- ② 県民から支援物資として届けられた生活用品の提供
- ③ 1世帯30万円（単身世帯は半額）の生活資金供与を行っています。

※ 支援にあたっては、それぞれ制度要件等がございます。

【担当：徳島県政策企画総局（TEL:088-621-2131）】



ご相談・お問合わせは

徳島県農林水産部  
ブランド戦略総局畜産課

TEL 088(621)2417

独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業

健康生きがいきづくりアドバイザー福島県協議会



|      |                      |       |     |    |      |
|------|----------------------|-------|-----|----|------|
| 事業名  | 就労支援「那賀第3セクター四季美谷温泉」 | 地域    | 徳島県 | 資料 | 11-5 |
| 担当機関 | 徳島県健康生きがづくりアドバイザー協議会 | 機関所在地 | 徳島県 | 番号 |      |

# 徳島県

健康とくしまが応援  
元気で働きませんか

## 那賀第3セクター

夫婦仲良く働いてみませんか！

### 東日本大震災で被災された方へ

持っている技術を新しい職場で生かそう！

#### 就業先の第3セクター

秘境の宿

『四季美谷温泉』



#### 就労支援

男性(主人) ■調理師免許 必要  
■田舎料理  
(地元の食材を使用)

女性(妻) ■朝食の準備等  
■パート可能

- 給与 給与規定に準じ面談の上決定
- 加入保険  
(正社員) ・健康保険・厚生年金・雇用保険・労災保険  
(パート) ・雇用保険・労災保険
- 住宅 公営住宅(町営住宅)へのお世話可能



ご相談・お問い合わせは

株式会社 四季美谷温泉(担当 支配人)

TEL 0884(65)2116

独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業

健康生きがづくりアドバイザー福島県協議会



|      |                             |       |     |          |      |
|------|-----------------------------|-------|-----|----------|------|
| 事業名  | 就労支援「海陽町第3セクター<br>ホテル、道の駅等」 | 地域    | 徳島県 | 資料<br>番号 | 11-6 |
| 担当機関 | 徳島県健康生きがづくりアドバイザー協議会        | 機関所在地 | 徳島県 |          |      |

**徳島県最南端** **健康とくしまが応援**  
元気で働きませんか

**海陽町第3セクター**

夫婦仲良く働いてみませんか！

**大震災で被災された方へ**  
新しい仕事に挑戦しましょう！

■ 就業先の第3セクター

- ① ふれあいの宿 遊遊 NASA
- ② ホテル リビエラしきい
- ③ 道の駅 穴喰温泉



■ 就労支援

|        |             |       |            |
|--------|-------------|-------|------------|
| 男性(主人) | ■ 大型運転免許 必要 | 女性(妻) | ■ 朝食の準備    |
| 正社員    | ■ 温泉湯の入替作業  | パート   | ■ 勤務時間     |
|        | ■ 以外に盛り等    |       | ■ 朝5時～10時  |
| 賞金(月)  | 約 180,000 円 | 賞金(月) | 約 70,000 円 |

※夫婦共働きで月額 約 250,000 円可能

■ 加入保険

- (正社員) ・健康保険・厚生年金・雇用保険・労災保険
- (パート) ・雇用保険・労災保険



ご相談・お問合わせは

**株式会社 漁火 総務課**

**TEL 0884(73)0300**

健康生きがづくりアドバイザー福島県協議会

独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業



|      |                        |       |      |    |      |
|------|------------------------|-------|------|----|------|
| 事業名  | 製造業就労支援「大隆精機株式会社」      | 地域    | 徳島県内 | 資料 | 11-7 |
| 担当機関 | 徳島県健康生きがいきづくりアドバイザー協議会 | 機関所在地 | 徳島県  | 番号 |      |

**徳島県** **健康とくしまが応援**  
元気で働きませんか

## 大隆精機株式会社

自動省力機械設計・製作経験者歓迎！

**東日本大震災で被災された方へ**  
**持っている技術を新しい職場で生かそう！**

### 就業先

【住所】  
徳島県阿南市宝田町今市柳タイ1番地  
URL <http://www.dairyu.com>



### 就労支援

- 【機械設計】 自動省力機械の設計
- 【制御設計】 ハード・ソフト設計 制御盤・機械配線
- 【溶接工】 各種溶接
- 【組立工】 自動省力機械の組立
- 給与 給与規定に準じ面談の上決定
- 加入保険
  - (正社員) ・健康保険・厚生年金・雇用保険・労災保険
  - (パート) ・雇用保険・労災保険
- 条件 ・高卒以上(工業系履修)で実務経験者(応相談)



ご相談・お問合せは  
**大隆精機株式会社 担当(山田、柿本)**

TEL (0884)23-3457

健康生きがいきづくりアドバイザー協議会

独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業



|      |                |       |     |    |      |
|------|----------------|-------|-----|----|------|
| 事業名  | 農業就労支援「みかん選果場」 | 地域    | 松山市 | 資料 | 12-1 |
| 担当機関 | 松山市シルバー人材センター  | 機関所在地 | 松山市 | 番号 |      |

# 愛媛県

**健生が応援**  
元気で働きませんか!!

## ミカン農家

季節労働に出かけませんか!

**11月～3月**

ミカン農家では人手が足りません!!

寒いこの冬、あったかな瀬戸内海を日の前にした愛媛県で働きませんか。  
温暖な瀬戸内海の島のミカン農家では、11月～3月最盛期です。  
お手伝いに来ませんか心からお待ちしています。



- 宿舍ご用意いたします。
- 日 当 / **7,000円～8,000円**
- 農業法人では常時雇用も可能です



お問い合わせはお気軽に!

**松山市シルバー人材センター**

**TEL 089 (933) 7373**

事務局次長/柳原祐二まで FAX 089(933)0131

独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業

健康生きがいづくりアドバイザー 福島県協議会



|      |                |       |     |    |      |
|------|----------------|-------|-----|----|------|
| 事業名  | 農業就労支援「みかん選果場」 | 地域    | 松山市 | 資料 | 12-1 |
| 担当機関 | 松山市シルバー人材センター  | 機関所在地 | 松山市 | 番号 |      |



# 愛媛県・中島

みかんの島で働いています。

**速報**

福島県のみなさん  
待っています。



辻子さんご夫婦

郡山の辻子さんご夫婦、双葉町の小川さんはじめ、7名の方が、12月より温暖な愛媛県のみかん農家で働いています。

小川謙太郎さん

体を動かし  
元気を取りもどしたい。  
4月までやってみて、  
その先また考えます。  
果樹栽培、楽しみに  
しています。

仕事風景



- 中島は人口3000人、診療所もスーパーもあり、親切な人が多いですよ。
- 単身者用・夫婦用宿舎、無料で準備。



お問い合わせは  
**健康生きがいつくりアドバイザー福島県協議会**  
**鹿目昭夫(郡山) / 090-9039-4775**



|      |                |       |     |    |      |
|------|----------------|-------|-----|----|------|
| 事業名  | 農業就労支援「みかん選果場」 | 地域    | 松山市 | 資料 | 12-2 |
| 担当機関 | 松山市シルバー人材センター  | 機関所在地 | 松山市 | 番号 |      |

平成 23 年 12 月 7 日 (水) 愛媛新聞掲載

## 福島4被災者 ミカン出荷に汗

# 働ける日常求め中島へ



福島県から松山市の中島に一時移住し、かんぎつの出荷用シールの準備に励む辻子あゆ美さん＝6日、同市中島大浦

東日本大震災で被災した福島県出身の4人がこのほど松山市の中島本島に来年3月までの予定で一時移住し、6日、同市中島大浦のJ A えひめ中央農業協同組合中島選果場でかんぎつ出荷の仕事に就いた。震災で自宅や職を失ったが「働きたい」との一念を募らせ、見ず知らずの土地で新生活をスタート。島民との交流も期待しながら、選別や荷造り作業に汗を流す。

### 「頑張って」選果場も期待

一時移住は「健康・生きがい開発財団(東京都)の被災者就労事業の一環。委託を受けた松山市シルバー人材センターが、4人の仕事や住居の確保、地域社会との絆づくりをサポートしている。4人は、郡山市出身の辻子勝美さん(71)、一時移住は「健康・生きがい開発財団(東京都)の被災者就労事業の一環。委託を受けた松山市シルバー人材センターが、4人の仕事や住居の確保、地域社会との絆づくりをサポートしている。4人は、郡山市出身の辻子勝美さん(71)、

あゆ美さん(43)夫婦と、双葉町出身の小川兼太郎さん(72)、讃岐裕一さん(25)。震災や東京電力福島第1原発事故の影響で自宅に帰れなかったり、失業したりしていた。今月から島内の市営教員住宅やJ A の研修センターで順次暮らし始めた。就労初日のこの日は午前8時半から作業。先輩従業員に教わりながら

からフォークリフトを操作する辻子勝美さんは、地元で人材派遣会社を経営していたが3月末に廃業。何もしないという苦痛を味わい「自分で体を動かしたい」との思いから夫婦で中島行きを決めた。小川さんと讃岐さんは、農家が出荷したミカンの入ったコンテナをラインに運ぶ作業に従事。2人の自宅は福島第1原発10\*圏内にあり、福島県内の仮設住宅にそれぞれ入居していた。讃岐さんは初めて訪れた中島を「暖かくて過(か)しやすい」と気に入った様子。元小学校教師の小川さんは「仕事の合間を使っ(て)俳句の勉強も始めた」と新生活への意欲を見せた。中島選果場では繁忙期人手が不足しているという。場長の入船修善さん(53)は「働きたいのに仕事がないのはつらい。震災に関係なくやる気のある人に来てもらい、従業員とともに頑張ってもらえれば」と期待していた。(清家香奈恵)

|      |                |       |     |    |      |
|------|----------------|-------|-----|----|------|
| 事業名  | 農業就労支援「みかん選果場」 | 地域    | 松山市 | 資料 | 12-3 |
| 担当機関 | 松山市シルバー人材センター  | 機関所在地 | 松山市 | 番号 |      |

平成 23 年 12 月 7 日 (水) 読売新聞掲載

## ふるさと福島への若者へ

# 仕事背中で教える



選別を終えたミカンのケースを積み上げる小川さん(松山市中島大浦の中島選果場で)

東日本大震災で被災した福島県双葉町の元小学校教諭小川兼太郎さん(13)が、東京の財団法人「健康・生きがい開発財団」が取り組む被災者就労支援に応じて松山市沖の中島で、6日から、特産・ミカンの選別作業に従事し始めた。中退・不登校の高校生を指導する塾を経営していたが、震災で教えずらの就労就労もままならない状況が続く。「希望を失わないよう、汗水垂らし、働くことの大切さを知ってほしい」。小川さんは4か月間の労働体験を、教えずらに自らの言葉で語り継ぐ。(都築建)

小川さんは約40年間、同町などの小学校で教え、退職後の2009年、サポート塾「小川高等学院」を設立。これまでに約60人の面倒を見てきた。しかし、3月の震災で、教室として使ってきた建物は壁が崩れ、机やイス、本も散乱した。また、福島第一原発事故で同町が警戒区

## 元教諭・小川さん

果の仕事がどういふものなのか、小川さんにも未知だった。あれこれ考えをめぐら、「まず自分でやってみよう」と思い直し、応募枠に余裕があることを確認して参加することにした。

教えずらの一人からは「一度決めたらやり抜くのが小川先生。次に会う時は学校を再開させて、仕事の話を聞かせてほしい」と励まされたという。

## まず自分でやろう

「被災者支援は、独立行政法人「福祉医療機構」の助成金で実施。一時移住し、農業や漁業など主に第1次産業に携わる。中島では小川さんら福島県の4人が働く。10道府県で計画されているが、就労が始まったのは愛媛が初めて。

## 中島でミカン選別

域となり、塾を閉鎖。自身も9月から同県郡山市の仮設住宅で暮らし始めた。約100人が入居する仮設住宅では、働き盛りの若者が何もしないまま過ごす姿を何度も目にした。自治会長でもあった小川さんは「この手らの将来はどうか」と気をもんでいた。

11月になって、小川さんはミカン選果場での就労者募集を知った。初めは若者らに勧めようとしたが、選別作業を始めた。仕事は午前8時半から午後5時まで、ベルトコンベヤーにミカンを載せるなど選別作業を手伝う。地道で根気のいる立ち仕事だ。

折に触れ、教えずらにも近況を報告する予定で、「被災体験を乗り越えるには、強い意志が必要だ」ということを、教えずらや仮設の若者らに語り継ぐ。

|      |                   |       |     |    |      |
|------|-------------------|-------|-----|----|------|
| 事業名  | 東日本大震災「避難者激励会」チラシ | 地域    | 松山市 | 資料 | 12-4 |
| 担当機関 | 松山市シルバー人材センター     | 機関所在地 | 松山市 | 番号 |      |

平成24年3月11日。  
未曾有の被害をもたらした  
「東日本大震災」から一年。  
この日、キャンドルを灯しながら、  
家族の絆や命の大切さ、  
今回の震災から学んだこと、  
それをどう今後に活かしていくのか、  
遠く離れた松山にいる私たちが  
できることは何か、  
共に考える日にしましょう。

# 松山から想いを

～ 東日本大震災、あの日を忘れない～



**3月11日(日)**  
15:00～20:00  
松山市総合福祉センター 3F屋上庭園  
(松山市若草町8-2)  
入場無料  
※メッセージご記入の際、  
200円のご寄付にご協力をお願いします。

主催 松山市社会福祉協議会・松山市ボランティアセンター  
(※詳細は裏面をご覧ください。)



|      |                    |       |     |    |      |
|------|--------------------|-------|-----|----|------|
| 事業名  | 東日本大震災「避難者激励会」概要 1 | 地域    | 松山市 | 資料 | 12-5 |
| 担当機関 | 松山市シルバー人材センター      | 機関所在地 | 松山市 | 番号 |      |

## 東日本大震災「避難者激励会」概要

### 1 目的

東日本大震災で本市へ避難されている方々を元気づけ、この大震災を風化させないための取り組みとして、震災発生日に合わせ、各地域や団体等の協力を得ながら避難されてきた方と地域の方々との親睦を深めるための激励会を実施する。

また、地震発生時刻である午後2時46分に黙とうを行う。

### 2 開催日時

平成24年3月11日(日) 12時00分から15時30分

### 3 開催場所

松山市総合福祉センター(松山市若草町8番地2)

### 4 主催

東日本大震災避難者激励会実行委員会(松山市)

### 5 協力団体

松山市社会福祉協議会・松山市ボランティアセンター、松山市ボランティア連絡協議会、公民館、女性防火クラブ、道の駅風早の郷風和里、和気地区、余土地区、石井地区の各代表、中島地区総代会、シャンピーバルーンチーム、えひめ中央農業協同組合、愛媛県総合保健協会、食生活改善推進協議会、中島汽船株式会社、松山市シルバー人材センター

### 6 実施内容

12時00分～15時00分(避難者が居住する地域ごとに考えたおもてなし)

#### 1階 大会議室(メイン会場)

12:00～ 市長あいさつ

12:10～ 玉寿会による伊予万歳(和気地区)

12:20～ 笑いヨガ(余土地区)

12:30～13:30 昼休憩(1階ロビー、3階クラブ活動室)

グルメコーナー(シシ肉うどん;女性防火クラブ)  
(たこめし;中島地区)

餅つきコーナー(道の駅 風早の郷風和里)

子どもコーナー(シャンピーバルーンチーム)

(防災カバー君、しまぼう、モグッピー)

13:30～ 居相町獅子舞(石井地区)

|      |                    |       |     |    |      |
|------|--------------------|-------|-----|----|------|
| 事業名  | 東日本大震災「避難者激励会」概要 2 | 地域    | 松山市 | 資料 | 12-5 |
| 担当機関 | 松山市シルバー人材センター      | 機関所在地 | 松山市 | 番号 |      |

- 13:45～ 健康劇（食生活改善推進協議会）
- 14:00～ アマチュア吹奏楽団「北斗21」によるコンサート
- 14:20～ 育英第二幼稚園児によるお遊戯
- 14:30～ シャンピーバルーンチームによるバルーンショー  
防災カバー君、しまぼう、モグッピーからプレゼント
- 14:46～ 追悼の祈り(黙とう)
- 14:50～ 避難者の方からのメッセージ  
「東日本大震災を乗り越え1年を迎えて」
- 14:55～ 就労機会提供について（松山市シルバー人材センター）

15時00分～15時30分

5階 小会議室 避難者の方同志の親睦を深める会

※ 12:00～15:00

- 1階ロビー：健康度測定ブース  
：お仕事相談コーナー  
：ビデオレターコーナー

1階展示コーナー：地域からのメッセージ紹介  
応援メッセージパネル展示

## 7 その他

- (1) この会の運営は、市役所職員募金により実施する。
- (2) 参加者全員に中島地区からの柑橘をプレゼントする。

|      |                      |       |     |    |      |
|------|----------------------|-------|-----|----|------|
| 事業名  | 農業就労支援「営農再開支援」       | 地域    | 長崎県 | 資料 | 13-1 |
| 担当機関 | 長崎県健康生きがづくりアドバイザー協議会 | 機関所在地 | 長崎県 | 番号 |      |

# 長崎県での

**健全が応援**  
元気で働きませんか!!

## 営農再開を 支援いたします

### 被災された農業者の方へ その技術を、長崎で。

- (財)長崎県農林水産業担い手育成基金が雇用し  
研修を実施します
- 貸金/月額 **160,000円**
- 社会保険等へ加入
- 雇用(研修)期間/1年間
- 研修作目/露地野菜、露地花き等



#### ■営農再開時の支援

- 農地借地料(上限50a)、機械リース料を3年間支援
- 農地情報ご提供
- 営農開始資金**100万円**貸与 ※長崎県内で3年間、営農を継続した場合は償還を免除いたします。

#### ■長崎県までの引越し経費、住居のご提供

※引越し経費等を一定額助成(被災者も含む)



ご相談・お問い合わせは

**長崎県農業経営課 就農支援班**

**TEL 095 (895) 2935**

長崎県農業経営課

検索

[www.pref.nagasaki.jp/taigoujisei/taigou.html](http://www.pref.nagasaki.jp/taigoujisei/taigou.html)

健康生きがづくりアドバイザー福島県協議会

独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業



|      |                       |       |      |    |      |
|------|-----------------------|-------|------|----|------|
| 事業名  | 長崎で農業研修               | 地域    | 福島県内 | 資料 | 13-2 |
| 担当機関 | 長崎県健康生きがいづくりアドバイザー協議会 | 機関所在地 | 長崎県  | 番号 |      |



2011 (平成23) 年

11月9日

水曜日

発行所  
福島民報社  
福島市太田町13-17  
(郵便番号960-8602)



来社した(右から)鹿目、南、片渕の各氏

長崎で農業研修を

本県の被災者募集

長崎県農林水産業担い手育成基金は長崎県で農業研修をする本県の被災した農業者を募っている。

賞金は月額十六万円で、期間は一年。露地野菜や花卉(かき)づくりを学ぶ。長崎県までの引越し費用の一部を助成し、住居もあつせんする。年度内に

健康生きがいづくりアドバイザー長崎県協議会の南敏泰会長は八

日、農業研修への応募呼び掛けのため福島民報社を訪れた。

南会長は「長崎で農業を再開する人を応援したい。福島県の風評被害をなくすためにも全力を挙げる。長崎で十六日には原発事故に関する講演会、三十日には福島のリングの販売会を開くと語った。片渕孝治事務局長、健康生きがいづくりアドバイザー福島県協議会の鹿目昭夫会長が一緒に訪れた。

|      |                       |       |      |    |      |
|------|-----------------------|-------|------|----|------|
| 事業名  | 長崎で農業研修               | 地域    | 福島県内 | 資料 | 13-3 |
| 担当機関 | 長崎県健康生きがいづくりアドバイザー協議会 | 機関所在地 | 長崎県  | 番号 |      |



|      |                       |       |     |    |      |
|------|-----------------------|-------|-----|----|------|
| 事業名  | 「講演会 長崎・チェルノブイリから学ぶ」  | 地域    | 長崎県 | 資料 | 13-4 |
| 担当機関 | 長崎県健康生きがいづくりアドバイザー協議会 | 機関所在地 | 長崎県 | 番号 |      |

2011年(平成23年)11月17日 木曜日 (日刊)

# 長崎新聞



被ばくの影響について講演する高村教授  
 ■長崎市、長崎歴史文化博物館

**長崎などの教訓 福島に生かそう**  
 高村長崎大教授が講演 原発事故問題についての

講演会「長崎・チェルノブイリから福島を学ぶ」が16日、長崎市立山1丁目長崎歴史文化博物館であり、約70人が被ばくの影響について理解を深めた。

「健康生きがいづくり県協議会(南敬泰会長)が、被爆地長崎の経験を福島第1原発事故で苦しむ人たちのために生かそうと初めて開催。福島などから長崎に避難してきている人たちも招待した。

長崎大大学院医歯薬学総合研究科の高村昇教授が講演。高村教授は、同原発事故で放出された放射性物質の量は長崎原爆で放出された量よりも多いとしながらも、「放射線量は長崎の方が極めて高い」と指摘。チェルノブイリ原発事故で小児甲状腺がんの患者が増加したという事実を踏まえ、「福島で怖いのは食べ物を通しての内部被ばく。しかし、国が定めた食品の暫定基準値を下回っていれば問題ない」と説明した。

(東村亮)